

第3回 水防災意識社会再構築協議会 開催 (大淀川上流・大淀川下流・小丸川) 第1回 大淀川水系水防災意識社会再構築協議会 第1回 小丸川、一ツ瀬川水系水防災意識社会再構築協議会

平成28年、各流域の関係機関が連携・協力し、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的として協議会を設立し、第2回の協議会で「減災に係る取組方針」を決定し取り組みを開始しました。

第3回となる今回の協議会では、関係機関におけるこれまでの取り組み状況についてフォローアップを行うとともに、情報の共有を図りました。

また、平成29年度より県管理区間においても水防災意識社会の再構築に取り組むこととなったことから、関係機関を新たに追加し、水系全体での協議会に改め取り組むことを確認しました。

開催概要

- 日時：平成29年6月2日（金）
- 会場：宮崎河川国道事務所別館会議室

協議会 委員名簿

- 規約別表のとおり。

議事内容

- 新たな協議会設立・規約改定について
- 「減災に係る取組方針」フォローアップ【大淀川上流、大淀川下流、小丸川】について

委員の方の主な発言

- 上流域の雨が下流域に与える影響などを考えると、上下流の各機関が情報を共有し、連携していくことが重要。今回、新たに上流域の関係機関が加わる事で、より広域的な連携が可能となる。
- 水防災はもとより、津波に対する防災を考えると情報伝達を迅速に行っていく事が重要であり、そのしくみの強化を図ることが必要である。
- 洪水対応の際、どのような情報がどこから伝達されるのか明確にしておくことが重要。
- いざという時に必要な情報を確実に伝えるため、県管理区間でも「タイムライン」「ホットライン」の取組を進めたいと考えている。

